参考　　　　　　　　「逃げ地図（避難地形時間図）」学習指導案

１ 学年・場所 ４年〇組 教室（４５分×２コマ）

２ 単元名 逃げ地図（避難地形時間図）

３ 関連する教科と内容

　 小３算数「時刻と時間」「長いものの長さのはかりかた」

　 小４社会「くらしを守る」「住みよいくらしをつくる」

　 小５社会「わたしたちの生活と環境」、理科「流れる水のはたらき」「川と災害」

　 小６理科「土地のつくりと変化」「地しんや火山と災害」、算数「速さの表し方」

　 中２保健「自然災害による傷害の防止」

４ 単元設定の理由

（１）目標

津波から避難する最短時間を知ることができる。状況に応じて適切な避難ルートを選択する力がつき、通学途中など、自分ひとりでも命を守る行動がとれるようになる。

（２）設定の理由

３年生で時刻や時間、長いものの長さの図り方を理解し、４年生では自分たちの住む地域のことを知り、地図の見方について学ぶ段階にきています。本題材は、地図に色分けをすることで最短で避難することができるルートがわかることで、生徒たちが自らの身を守る方法がイメージし易くなる。

５ 必要物品

学校で用意するもの

・色鉛筆(緑、黄緑、黄色、オレンジ、赤、紫、茶色、黒)　各自持参

・紐(地図の縮尺に合わせて分速43m×3分の長さ)人数分　・大きめポストイット

・黒マジック（細）人数分、消しゴム

講師が用意するもの

・学校周辺の地図　・地図の縮尺に合わせて紐の長さを事前に学校へ伝える

・各班にファシリテーターがつく

６ 展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 学習活動 | 指導上の留意点 | 評価（観点・場面・方法） |
| 導入  （15分） | ・東日本大震災などの映像を見る  ・津波の速さについての映像  ・自分の町もこの映像と同じようになるのかを考える | ・津波の速さ、想定される津波到達時間について説明する  ・作業手順の説明  ・条件設定の説明  ・色別に塗り進めるため、時間を区切り一斉に同じ作業を取り組めるよう説明 | ・津波の速さ、想定される到達時間などを知る  ・津波からいち早く逃げる方法について知る |
| 展開  （35分）  発表準備  (10分)  発表  （20分）  1班発表3分程度  全体まとめ  (5分） | 設定した避難場所から緑→黄緑→黄色→オレンジ→赤→紫→茶色→黒と塗り進める  ・気が付いたことをポストイットに書き出し貼っていく  ・避難する方向の矢印を書く  ・(設定の違う)他の班の地図と自分の班の地図を比べ違いをまとめる  発表の題材設定  例示)  ・設定した避難場所までの避難経路の危険個所  ・他の班との違い  　　　　　　　　など  ・班ごとの発表  　題材設定について発表をする  　ポストイットに書き出した、気が付いたことを発表する | 設定した避難場所から緑→黄緑→…と塗り進めますが、細かい路地なども色塗りを行いますので、全体が同じ時間配分で塗る作業を行います。(一つの色を5～7分)  ・色を塗りながら子供たちの話したこと、気づいたことをポストイットに書かせる  ・矢印の起点を同じ色で挟まれた地点や自宅などとし、どちらの方向へ避難すべきかを示す  発表順は設定の違う班を交互に発表する  ・発表を踏まえて違いが出た内容で、気が付いたことを伝える  ・津波からいち早く逃げるために、通学途中など自分がどの位置にいて、  その場所からどの方向に避難をすれば良いのかを考えさせる |  |